

ユーモアスピーチ船橋

2020 (R2) 年 11 月 12 日 発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味
171 回船橋ユーモアスピーチ

2020 年 11 月 12 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「巣籠」、「居酒屋」

ロングスピーチ

植野 晏生さん 「蟬しぐれの舞台と庄内藩」

10 月 8 日の参加者：飯野、山田、佐藤、入江、松永、辻内、大塚、はらだま、工藤、中久木、常廣、植野、町田、長嶋 14 名

主催：NPOシニア大楽
ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

見学科 500 円

開催日と場所 (原則)

毎月第②木曜日 14:00~16:30

会場 KATANA オフィス船橋 5 階

前回のロングスピーチ

「初歩の手品等」

佐藤 重剛さま

80 点

これは、この我がロングスピーチ

の自己採点結果である。

初心者(初歩)故、ロングスピーチ 30 分は持たないと考え、手品以外に何かを実施、と思い、タイトルに「等」を入れさせて頂いたのに……。

が、しかし、一部の種明かしが聴衆者に見えた(バレた)事例もあったが、一応「新聞への水入れ」等の芸が満足された(?)ので、80 点とした。20 点の減点理由は、他に準備しておいた、「トランプ」(米国の大統領ではない)、「スプーン曲げ」、「タマゴ技」、「ロープ芸」等々が実施できなかったことである。残念 !!



前回のロングスピーチ

「八十の坂 なんと遠くにきたもんだ」

辻内 京子さま

- ・ 認知症予防講座
輪ゴムを使った指体操、
手と指の運動
頭の体操 二字熟語



3 分間スピーチダイジェスト テーマ
「期待どおり、期待はずれ」、「階段」

中久木 一乗：「期待通り、期待外れ」

「健やかな口」と書く 健口管理の「期待と失望」のお話しです。

- ① 「歯みがき」で「歯の汚れを減らすこと」は ある程度期待通りですが、う蝕や歯周病を予防するということは、期待外れです。
- ② ブラッシングは、口の中の大きい食べカスを取り、歯肉をマッサージする効果は期待できますが、歯と歯の狭い隙間の清掃は不可能で、う蝕予防は期待外れです。歯間ブラシとデンタルフロスが効果を期待できます。
- ③ 最後に「ガラガラうがい」では健口保持の期待は外れます。ブクブクと洗口することが期待に応える行為です。

*あと一月でイイハ (=11.8.) の日です。

工藤 文夫：「期待外れ・期待以上」

私の場合、期待外れの人生が多いかな？ 最近の期待外れは、TVの「なんでも鑑定団」の景品です。自分のイメージでは、「金の招き猫」でもいただけるのかな？？と勝手に期待していたところ、やっと届いたのが、日付も名前もないただの認定証でした。いくら予算がないとはいえ、紙切れ一枚の対応でした。ガックリ。！！期待以上は、「ユーモア・スピーチの会」です。毎月、教養あふれる、人格的優れた方が多い皆様の話が、わずかワンコインで拝聴できるなんて、まさに私にとって貴重な体験です。

飯野 望：「階段」

船橋市役所に会場を借りてお願いに行くと、書類を8階まで階段で取って来るように言われ、行ってくると、別の書類を10階まで行くように言われ、10階に行くと、今度は地下に行くように言われた・・・会場での会議内容は・・・もちろん怪談話です。

町田雅和：「階段」

落語家には、前座、二つ目、真打という3つの階段がありますが、最近注目している女性落語家で、金原亭杏寿という人がいる。彼女は沖縄でCM、ドラマ、モデルなどで活躍した後、落語家に入門している。私が思うに、たぶん彼女は真打を目指していない。2番目の“二つ目狙い”二つ目になれば、自由に落語会など開けますから、自分の活動の場所を広げられる。落語もできるファッションモデルなんてカッコいいですよ。世の中ニューノーマル、いつも最上階を目指すのではなく、途中でも楽しいということで、「階段は踊り場からの景色が素晴らしい」お後がよろしいようで、

植野 晏生：「高齢者とペット」

高齢者がペットを飼うには制約があります。先般女房が友達から保護猫を飼わないかと連絡があった時、駄猫は嫌だと言ったら手乗り文鳥の雛を買ってきました。私の平均余命は11歳、妻のそれは20歳。犬猫は品種や野良か飼い犬猫かによって違いますが14~15歳位。妻は飼えるが私はダメです。文鳥は8歳位。ちょうど良いかもしれません。ペットはなんでも癒されます。

松永 成三郎：「階段で転んだ話」

8月お盆が終わった頃のhappeningでした。二階から乾いた洗濯物を籠に入れて両手に持ち、後二、三段で着地という時、油断があったのでしょうか。足が滑って危うく腰を打ち付けるという瞬間、とっさに足が先に体重を受け止めたせいか派手にしりもちはずかずに済みました。が、その瞬間にも私の脳裏に脊柱圧迫骨折という恐怖がよぎりました。体重をその一点で支えることになった右拇趾はあつという間に腫れたてきたので、一生懸命冷やしましたが、2週間は内出血による腫れと痛みが残りしました。余談ですが、高齢者の不慮による事故死は年間3万人近くあり、その半分は家の中の出来事で、その中でも転倒事故が30%弱あるそうです。皆さん、くれぐれも気を付けましょう。

入江 清之：「期待はずれ」

安倍政治は政策のキャチフレーズの多さで国民の注目を引き、その取り組む姿勢を強調しながら実行力を演出したが、そのキャチフレーズの多さが仇となり、安倍政治は期待外れで終焉。最初のキャチフレーズはアベノミクスの「3本の矢」、その後GDP、出生率、介護職者離職ゼロなど新3本の矢が示され後にも「地方創生」、「1億総活躍社会」、「全世代型社会保障」、「女性活躍」、「働き方改革」、「未来投資」、「待機児童ゼロ」、「非正規労働という言葉はなくす」などのキャチフレーズを発表。しかしGDP、出生率そして待機児童の実績は目標に遠く及ばず安倍政治は幕。菅新首相には神様や高い国民の支持率にすがってでも若い世代に希望を与えるようなすがすがしい菅ビジョンを提唱して欲しい。



佐藤 重剛：「階段」

今日 この会場に来るまで、この建物五階までエレベーターを使わずに階段を登ってきました。スピーチテーマが「階段」であることを承知していた訳ではなかったのにですよ !!従って、五階まで何段あったか数えた訳では有りませんが 多分 7~80 段は有ったのではないのでしょうか。やっぱり、途中息切れがして……何度か時間をかけて……。普段も駅陸橋等を通る時などは、自分の体力保持の為と考え、エレベーター、エスカレーターは使わないように努めているつもりです。登りは勿論、下りもですよ。が、しかし、うちのカミさん（神様ではない）ワシより一才若いだけに、上記、エレベ、エスカ を使いたがる。「階段を登れ！」と言うのだが聞く耳を持たず。老夫婦の悲哀を感じている。蛇足ですが、階段を降りるときは若いころと変わりないと思うが、登りとなると二十段ほどで息切れ、と自覚している今日この頃であります。

長嶋 秀治：「階段」

今日（10月8日）の日経新聞に江東区木場の木造 12 階建単身者向け住宅の広告が載っていました。日本にもやっと木造の高層建築物が出来たかと嬉しくなりました。私が木造の高層建築物に関心を持ちだしたのは2013年に刊行された「里山資本主義」の中で海外の木造高層ビルの建築事例が紹介されていたのを読んだからです。日本も一步一步実現の階段を上っているようで頼もしい限りです。2018年2月に住友林業が創業350年記念事業として2041年に木造の70階建て高さ350mの高層ビルを建てる計画だと発表しました。あと21年、100歳を超えますが是非実物を見たいものだと期待しています。

大塚 親雄：「期待はずれ」

昨年のことですが、歴史散策で2時間の座学をして現地を案内するわけですが、今年の総会で感想を述べあうところで、現地もよかったけど講座もよかったという人が一人ぐらいはいてほしいと期待したが全員（30名）桜がきれだった講座の事は一言も出なかった。一生懸命やったのに期待外れでした。

でもっと勉強しなくてはと思い立ち、話し方教室にかよった。そこでベテラン講師が、最初は小さな声で、あれっ何を話をするんだろうって皆耳を傾けるのよ、そしたらメリハリをつけてMの字描くように見廻しながら話を進めて行くのよと教わり別なところでやってみた。

そしたら後ろの方から聞えません、キョロキョロしないでと散々な目に会い、これもわたしにとっては期待外れにおわった。

予告：12月 「船橋ユーモアスピーチの会」

12月10日（木）14時～ KATANA オフィス船橋

ロングスピーチ

大塚 親雄さん 「佐倉（臼井）と雷電為右衛門」

スピーチテーマ 「一年を振り返って」